

# 環境を汚さずにpHを繰り返し測れる！

## 「環境保全型高精度pH測定法」

～pHに対応して色変化する高分子フィルム～

東京電機大学 応用化学科 機能高分子化学研究室 鈴木 隆之教授  
[共同研究 大倉電気株式会社]

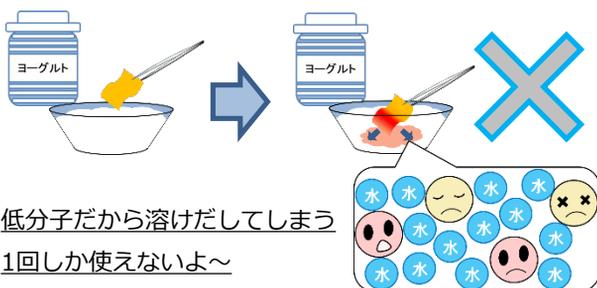
### 研究目的・背景

工場排水や河川のpHモニタリングに加え、金属関連の工場内や食品の生産現場など、様々な環境下でのpH管理が必要で、簡便かつ、Low Costなモニタリングが求められている。

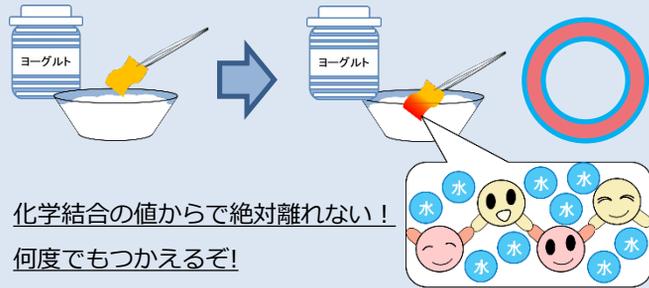
そこで、測定環境へ余計な物質が漏れずに、繰り返し計測できるpHセンサを検討した。

### 技術の概要

#### リトマス紙の場合…



#### 色調変化型高分子フィルムの場合…



OpH試験紙やpH電極の場合、水中へ内部の薬液が溶け出てしまう。開発した色調変化型高分子フィルムは、色調変化を示す部位が化学結合しているため水中に溶出せず、水溶液を汚さない。

OpH試験紙は1回だけの計測だが、新技術は何度でも計測可能。

○ガラス電極による計測は校正などを頻繁に行う必要があるが、新技術では校正は不要

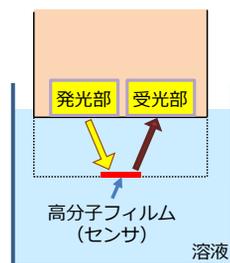
○色からpHを読み取る方法が簡便である。

### 計測方法

[大倉電気株式会社 提供]

○pHセンサである高分子フィルムの色を反射光を用いてRGB信号として測定し、pH値に変換可能。  
○測定ユニットと高分子フィルムの構成を変えることにより、各種用途へ適用可能。

測定ユニット  
[発光部、光センサ他内臓]

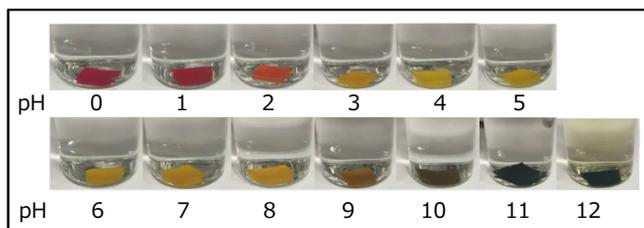


分離構造例 (展示品)

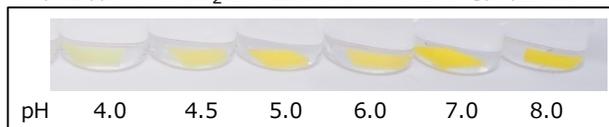
pHにより色調変化したフィルムの測定によりpH変換が可能

### 試作結果

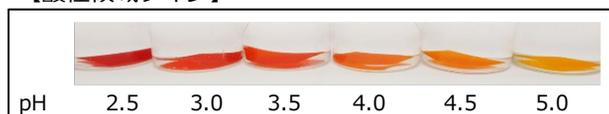
【全領域タイプ】水流に対して強靱な高分子フィルムで、酸性からアルカリ性まで高精度にpHモニタリングできた。



【中性領域タイプ】合成の難しい中性域の高分子フィルムで水中に溶解するCO<sub>2</sub>をモニタリングできる可能性がある。



【酸性領域タイプ】



### 想定される用途

- ◆金属/食品加工工場等の製造工程でのモニタリング
- ◆工場排水のpHモニタリング
- ◆河川等、自然環境におけるpHモニタリング

### 特許出願状況

【関連特許出願全5件】

- ◆出願名称 pH指示用共重合体、それを用いたpHモニタリング装置及びpH測定方法
- ◆特許番号 特願2011-025104(特許第5665187号) 等
- ◆発明者 鈴木隆之 ほか